



平成 27 年度

事 業 報 告 書

社会福祉法人神奈川県共同募金会

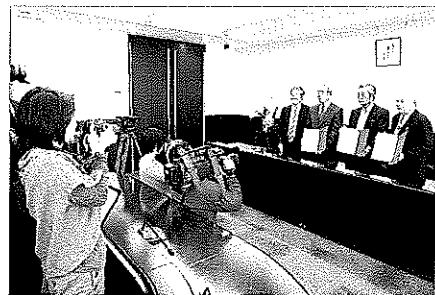
目 次

1 協働の推進	
(1) 学校法人関東学院との共同宣言	1 頁
(2) ブロスポーツチームとの協働	2 頁
(3) 大型新興マンションとの協働	4 頁
(4) 企業との協働	5 頁
(5) 鉄道各社との協働	7 頁
(6) 野毛山動物園との協働	7 頁
(7) 環境分野の公益団体等との協働	8 頁
2 共同募金運動の期間拡大	8 頁
3 募金事業の実施	
(1) 平成 27 年度共同募金の実施結果	9 頁
(2) 平成 28 年度共同募金目標額	9 頁
(3) NHK歳末たすけあいの実施と結果	10 頁
(4) 神奈川新聞歳末たすけあいの実施と結果	10 頁
4 配分事業の実施	
(1) 共同募金配分申請内容の周知	10 頁
(2) 平成 27 年度共同募金に対する配分審査および決定	10 頁
5 民間資金の調整	
(1) 中央競馬馬主社会福祉財団助成金の推薦	10 頁
6 広報活動の実施	
(1) 広報資材の作成と配布	11 頁
(2) 神奈川版 CM動画の制作	11 頁
(3) 第 39 回神奈川県福祉作文コンクールの実施	12 頁
(4) 第 36 回ともしひポスター・第 29 回ともしひ絵本コンテストの実施	12 頁
(5) 新聞紙面への掲載	13 頁
(6) インターネットによる情報配信	13 頁
7 協力者への表彰・感謝	
(1) 募金ボランティアへの表彰・感謝	13 頁
(2) 寄付者への感謝	14 頁
8 組織活動の展開	
(1) 理事会の開催	14 頁
(2) 評議員会の開催	15 頁
(3) 監事会の開催	16 頁
(4) 配分委員会の開催	16 頁
(5) 支会事務局長合同会議の開催	16 頁
(6) 事務局研究委員会の開催	17 頁
(7) 支会事務担当職員会議の開催	17 頁
9 関係機関団体との連絡・協調	
(1) 中央共同募金会等との連絡・協調	17 頁
(2) 神奈川県社会福祉協議会との連絡・協調	17 頁
10 タスクアワードの実施	
(1) 火災見舞金の交付	18 頁
(2) 東日本大震災等への対応	18 頁
(3) 障がい者支援施設の消防設備への対応	18 頁
11 国内大規模災害時の対応	
(1) 災害義援金の受け付け	18 頁
(2) 緊急事業への対応	18 頁
12 受配者指定寄付金の受け入れ審査	19 頁
13 中央共同募金会による共同募金 70 年答申	19 頁

1 協働の推進

(1) 学校法人関東学院との共同宣言(新規事業)

次世代を担う学生とともに地域福祉を推進していくために、全国初となる共同募金会と教育機関(学校法人関東学院)との「共同宣言」を行いました。平成27年4月18日、同大学金沢八景キャンパス(横浜市金沢区六浦東)で署名式(写真)が行われ、学校法人関東学院から増田日出雄理事長、小河陽学院長、中央共同募金会から斎藤十朗会長、本会から牧内良平会長の3者4名が出席して共同宣言を発表、宣言書に署名しました。当日の様子は、神奈川新聞やタウンニュース、福祉新聞等で記事に取り上げられ、t v kニュースでもテレビ放映されました。



多くのマスコミが駆けつけた共同宣言書の署名式(左から関東学院＝小河学院長・増田理事長、牧内県共募会長、斎藤中央共募会長)

① 「関東学院&赤い羽根仕様・寄付金付きボールペン」の製作等

「関東学院&赤い羽根仕様ボールペン」(2種類・各300本)を製作して、8月1日(土)、同23日(日)に大学が開催したオープンキャンパスで配布しました。共同宣言による協働事業は、学生が主体となった取り組みとするため、社会学部の山口稔教授と西村貴直准教授のゼミ生の中から、ボールペンのデザインや配布方法などを企画していく学生を募集。20人を超える学生が、6月11日から毎週木曜日の昼休み時間に研究室でデザイン4案と協働メッセージ6案を考えました。それぞれの案は学内投票を行い、上位2件のデザインとメッセージが装飾されたボールペンを600本製作しました。ボールペンは、8月に開催されたオープンキャンパスで、メッセージカードとともに高校生に配布されました。また、金沢文庫キャンパスの売店では、共同募金運動の開始にあわせて、限定100本のボールペンを学生たちが販売(1本当たり2円の寄付)し、当日に完売する反響がありました。



学生が企画製作したメッセージカード入りボールペン

② 大学キャンパスを活用した共同募金配分事業への取り組み

「全国共通配分テーマ＝地域から孤立をなくそう」

子ども・子育て世代・高齢者等で困難を抱える人の社会的孤立を防止するために設立した団体(コミュニティ福祉推進ネットワーク／横須賀市坂本町)への配分が、平成27年7月7日に開催した配分委員会で決定(開拓・啓発事業資金150万円)しました。この事業は、「地域から孤立をなくそう」という共同募金の全国共通配分

テーマに関東学院大学が賛同して、子どもや認知症高齢者、子育て中の親子等を対象としたコミュニティファーム（地域開放型農園）を、学生ボランティアの参加を得て運営しました。さらに、学生食堂の協力を得て、みんなで育てた農作物を素材に「あかいはねスープ」を作り、参加者による試飲会が行われ、大学からは今後「赤い羽根レシピ（メニュー）」を開発し、学生食堂で提供するとともに、売り上げの一部が地域福祉の財源（共同募金）に還元されるシステムを構築することも提案されました。



コミュニティファームでハーブ摘みをする幼稚園児と認知症グループホーム等の利用者たち

（2）プロスポーツチームとの協働

新たな募金・広報活動を展開するため、平成20年度に、地域密着型の活動を続けているサッカーJリーグチーム（川崎フロンターレ）との協働を全国に先駆けて開始しました。平成27年度も引き続きサッカーJリーグや女子サッカーチーム、プロ野球チームと、広報啓発用ポスターの製作を始めとした募金・広報活動を、各支会と連携して実施しました。また、横浜F・マリノスおよび湘南ベルマーレからは、各選手のサイン入りグッズ（公式戦使用球、ユニフォーム）を提供していただき、募金期間中に「YAHOOチャリティーオークション」に出展して、落札額を共同募金寄付金として受け入れました。

① 横浜DeNAベイスターズ（平成21年度から協働開始）

横浜DeNAベイスターズから、ポスターに使用する試合中の選手画像を無償で提供していただきました。また、全戸配布資料の県域版に、ポスター画像とともにチームからの応援メッセージを掲載しました。

ポスター用に提供された試合中の画像



② 横浜F・マリノス（平成21年度から協働開始）

横浜F・マリノスから、ポスターに使用する試合中の写真を無償で提供していただきました。また、横浜市域向けの全戸配布資料に、同チームからの応援メッセージを掲載しました。さらに、募金期間中に日産スタジアムで開催された公式戦（10月17日、ヴィッセル神戸戦／11月22日、松本山雅FC戦／2月21日、ベガルタ仙台戦）の会場に、共同募金ブース（写真）を無



日産スタジアムでイベント募金を行う横浜市支会職員と関東学院大学の学生ボランティア

償で設置していただき、チームキャラクター“マリノスケ”と赤い羽根をデザインした募金バッジなどを使用して、募金・広報活動を展開しました。なお、マリノス公式ショップ2店舗では、募金期間中に卓上募金箱を設置していただきました。さらに、大和市支会では、チームのスクールコーチと「赤い羽根・マリノスケと遊ぼう！」(10月3日)というイベントを大和プロムナード(大和駅東側)で開催して、キックボウリングなどのアトラクションを通じて、多くの子ども達に共同募金に親しんでもらうことができました。

③ 川崎フロンターレ(平成20年度から協働開始)

川崎フロンターレから、ポスターに使用する選手の写真(大久保嘉人選手・FW13)を無償提供していただきました。また、川崎市域向けの全戸配布資料に、同チームからの応援メッセージを掲載しました。さらに、募金期間中に等々力陸上競技場で開催された公式戦(10月4日、ガンバ大阪戦)の会場で、共同募金ブースを無償で設置していただき、チームキャラクター「ふろん太」と赤い羽根をデザインした募金バッジなどを使用して、募金・広報活動を展開しました。また、募金期間中に川崎各区の街頭募金(写真)を応援するため、市内の駅頭などに「ふろん太」を無償で派遣(7回)していただきました。さらに「ふろん太」が、共同募金の配分決定を受けた障がい者施設・ファームランドながお(川崎市宮前区)を訪問して、配分決定内容がチームのホームページなどで公開されました。



ふろん太が川崎市内の受配施設を訪問

④ 湘南ベルマーレ(平成22年度から協働開始)

湘南ベルマーレから、ポスターに使用する試合会場での写真を、無償で提供していただきました。また、湘南地域向けの全戸配布資料に、同チームからの応援メッセージを掲載しました。また、募金期間中にShonan BMWスタジアム平塚で開催された公式戦(10月3日、モンテディオ山形戦／10月23日、鹿島アントラーズ戦)の会場に、共同募金ブースを設置して、チームのロゴマークと赤い羽根をデザインした募金バッジや、チームエンブレム型のマグネットを使用して、募金・広報活動を展開しました。さらに、JR茅ヶ崎駅前で茅ヶ崎市支会が実施した地元中学校の生徒による街頭募金活動にも「キングベルI世」が応援に駆け付けてくれました。伊勢原市支会では、10月18日に開催された「伊勢原観光・道灌まつり」の会場で、チーム後援会の方々と選手サイン会と募金活動を実施しました。



「伊勢原観光・道灌まつり」でサイン会とともに募金活動を行う選手

⑤ ノジマステラ神奈川相模原(平成 25 年度から協働開始)

ノジマステラ神奈川相模原から、ポスターに使用する写真（監督・選手・コーチ）を無償提供していただきました。また、相模原市域向けの全戸配布資料に、同チームからの応援メッセージを掲載しました。さらに、募金期間中に相模原ギオンスタジアムで行われた公式戦（10月24日、アンジュヴィオレ広島戦）を「赤い羽根共同募金スペシャルマッチ」として開催。会場内に共同募金ブースを設置していただき、ポスター画像を装飾したポールペン等による募金・広報活動を展開しました。なお、運動開始初日の10月1日には、小田急線相模大野駅周辺で相模原市支会が実施した共同募金開始セレモニーに、監督・選手全員が募金ボランティアとして参加してくださいました。さらに、1月30日にチーム主催で行われた「応援感謝の夕べ」では、来場された方々に共同募金への協力を呼びかけていただき、集まった寄付金を県募金会にお届けいただきました。



共同募金の冠試合としてスタジアム内の大型ビジョンに映し出された広報画像

（3）大型新興マンションとの協働

共同募金運動は、自治会・町内会の大きな協力を得て、戸別募金を中心とした募金活動を展開しています。近年、地縁組織の未加入世帯に協力を求めるのが困難である実情が支会関係者から提起されたことを受けて、県募金会では平成20年度から大型新興マンションでの募金活動を、各支会と協働で実施しています。平成27年度も引き続き、川崎市中原区内の小杉地区周辺と横浜市神奈川区内のコットンハーバー周辺地域で募金活動を実施しました。なお、いずれのマンションでも、募金期間中の募金箱の管理は、マンション管理会社（管理人）が行っているため、住民による管理組合（自治会）の承認を得て、募金箱の管理などについては、管理会社とも連携して実施しました。

① 川崎市中原区内（小杉地区周辺地域）

平成20年度に「レジデンス・ザ・武蔵小杉」（地上24階建て／総戸数389戸）との協働を開始。平成27年度は「パークシティ武蔵小杉ミッドスカイタワー」（地上59階建て／総戸数794戸）など、全6棟で全戸配布資料のポスティングやエントランスへの募金箱の設置などにより78,989円（前年度4棟56,136円）の協力が得られました。さらに、マンション管理組合の役員と協議して、住民に共同募金の使途を身近に知ってもらうことを目的



小杉地区の高層マンション群

に、地元のNPO法人・小杉駅周辺エリアマネジメントが実施する、未就学児の子育て支援事業への配分を実施し、同法人の広報紙等を通じて、住民に配分事業を周知しました。

② 横浜市神奈川区内（コットンハーバー周辺地域）

平成22年度に「コットンハーバータワーズ」（地上38階建て／総戸数926戸）など全3棟との協働を開始。平成27年度も引き続き、同3棟で全戸配布資料のポスティングやエントランスへの募金箱の設置などにより213,611円（前年度278,197円）の協力が得られました。

（4）企業との協働

共同募金運動は、県民・企業、学校・ボランティア団体など、多くの方々の参加協力を得て実施しています。共同募金運動をさらに推進するためには、多岐にわたる分野で専門性を持ち、地域に根ざした公益活動を展開する企業との協働は不可欠であると考え、平成20年度に策定した「企業との協働に関する基本指針」に基づき、平成27年度も協働パートナーを拡大して、さまざまな協働事業を展開しました。

① 神奈川県共同募金会経済団体協力会との連携

平成25年9月1日、市区町村支会が募金期間中に実施するダイレクトメール方式による法人募金等を推進するために、神奈川県内の経済団体4団体（神奈川県商工会議所連合会、神奈川県商工会連合会、神奈川経済同友会、神奈川県経営者協会）の協賛により、「神奈川県共同募金会経済団体協力会」が設立されました。平成26年度は、新たに神奈川県中小企業団体中央会に協賛いただき、経済団体5団体による組織体制となりました。平成27年度は、同協力会等との連名により、県内企業4万2,138社にダイレクトメールによる法人募金の協力依頼を行い2,899法人から2,517万4,805円の寄付がありました。さらに、平成25年度から新たに拡大した運動期間（平成27年1月～3月）は、県内に事業所のある東証一部上場企業等を中心に、共同募金会との協働パートナーの募集を行いました。

② 共同募金仕様・自動販売機等の設置

平成19年度より「共同募金仕様・自動販売機」の設置を開始。飲料が売れるたびに、一定額（率）が各自動販売機の設置地域の共同募金寄付金として取り扱われています。平成27年度は、飲料メーカー等18社との協働により、45台を増設し、県内設置総数は146台となりました。同機を通じた寄付金も、対前年度比24万865円増の195万4,093円となりました。特に「JAはだの」では、共同募金と社会福祉協議会の活動の



JAはだのに設置された自販機（写真右から山口政雄組合長、藤村和静支会長、）

趣旨に賛同していただき、平成 28 年 3 月 1 日に各店舗や販売所に、一つの組織では全国で最も多い 30 台もの自販機を設置（写真）していただきました。3 月 23 日に開催された「代表者懇談会」では、山口政雄組合長と藤村和靜秦野市支会長を中心に、次世代につなぐ豊かな地域づくりへの展望が語られ、神奈川新聞およびタウンニュースで、当日の内容が記事として取り上げされました。また、1 回利用されるたびに利用料の 1% が寄付金となる「共同募金仕様・証明写真装置」も、相模原市役所および同市南区・緑区合同庁舎に継続的に設置していただき、県内設置総数 3 台により、平成 27 年度は 3 万 4,475 円の寄付を受け入れました。

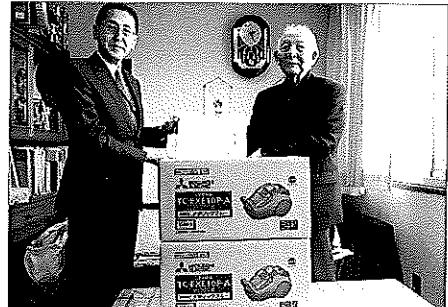
○ 平成 27 年度自動販売機別・寄付金受入状況一覧表…【別表 8 28~30 頁】

③ 企業商品による寄付の受け入れ（三菱電機株式会社）

新たな募金・配分事業の一環として、社会福祉施設等で必要とする商品を、直接企業から寄贈いただき、各施設等に現物で配分する事業を推進しています。平成 27 年度は、6 社から 11 点（総額 99 万 6,516 円相当）の商品を寄贈していただき、7 施設・団体に現物配分を実施しました。

ア) 三菱電機株式会社

三菱電機株式会社（東京都千代田区）は、平成 4 年に全国の社会福祉分野での支援を目的に「三菱電機 SOCIO-ROOTS 基金」を創設して、毎年、同基金から寄付金以外にも、多くの商品を寄贈していただいている。平成 27 年度は、同社製の冷蔵庫、掃除機（5 点 33 万 5,880 円相当）を寄贈していただき、県内の児童養護施設や障害者グループホーム 3 施設に配分しました。



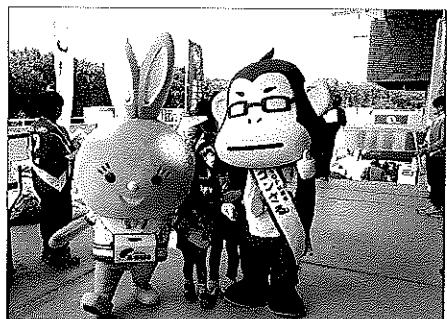
子どもの園・和田園長に掃除機の目録を渡す三菱電機㈱神奈川支社の宮岸総務部長

イ) 株式会社ファンケル

株式会社ファンケル（横浜市中区）は、関連会社とともに平成 25 年度から多くの商品を寄贈していただいている。平成 27 年度は、寄付金以外にも、健康サプリメント、レトルト健康食品（280 点 42 万 3206 円相当）を寄贈していただき、自立援助ホームや難民定住支援団体など 4 カ所に配分しました。

④ 絵本の主人公「マルタ」による募金・広報協力

平成 25 年度より、株式会社ピローズ（東京都中央区）との協働により絵本「マルタの冒険」（宮島永太良氏作）の主人公で、t v k や C S キッズステーションに出演中の「マルタ」が、赤い羽根サポーターとして県内の共同募金イベントに無償出演していただいている。平成 27 年度も引ききサッカー J リーグの試合会場や、地域の福祉ま



イベント募金会場で（株）ノジマのキャラクター「コンさる」と記念撮影をする「マルタ」（写真左）

つり等での募金活動に登場し、イベントを盛り上げてくれました。また、同社が主催する絵画展等のイベント会場への募金箱の設置や、CSテレビで共同募金CMの無償放送など、募金・広報活動を全面的に支援していただきました。

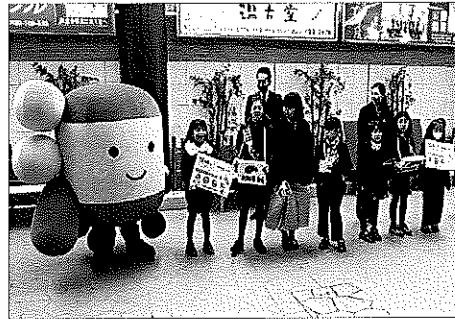
(5) 鉄道各社との協働

① 駅頭の無償使用許可

共同募金運動の開始時期に合わせて、毎年、鉄道会社の協力を得て、駅頭での街頭募金活動を展開しています。平成27年度も東日本旅客鉄道株式会社、相模鉄道株式会社、小田急電鉄株式会社、東京急行電鉄株式会社、京王電鉄株式会社、江ノ島電鉄株式会社、京浜急行電鉄株式会社、横浜市交通局、株式会社横浜シーサイドライン等の協力により、各駅頭での募金活動を非営業行為として承認・提供していただき、県内の鉄道駅構内での街頭募金は3,100万円を超える成果がありました。

② 江ノ島電鉄株式会社との協働

平成26年度より、鎌倉市・藤沢市支会と県募金会が連携して、江ノ島電鉄株式会社（藤沢市片瀬海岸）との協働を開始しました。沿線地域の福祉活動を支援することを目的に、共同募金会と鉄道会社による協働は全国初の事例となり、平成27年度も引き続き1月17日に江ノ電・鎌倉駅の構内で、赤い羽根等をデザインした缶バッジによる募金活動を実施しました。また、当



江ノ電・鎌倉駅構内で募金活動を行う「えのん」とガールスカウトの子どもたち

日は、同社キャラクター「えのん」が募金活動に初登場し、タウンニュースに写真入りで掲載されました。また、電車内と同社関連企業で運営する江ノ電バスの車内に、ポスターを無償で掲示していただきました。

(6) 野毛山動物園との協働

共同募金運動の実施に当たり、県募金会では平成14年度から動物をモチーフにしたキャラクターを使用した募金バッジ等を製作して、募金・広報活動を展開しています。また、平成24年度からは、横浜市支会と野毛山動物園（横浜市西区）と協働して、キャラクターとなった動物を共同募金のPR大使に委嘱して、運動を盛り上げる企画を行ってきました。平成27年度は、ツキノワグマをキャラクターに採用して、大使就任セレモニー等のイベントを、同動物園と横浜市支会と連携して実施しました。



野毛山動物園・ツキノワグマ獣舎前で開催した共同募金PR大使就任式

① 平成 27 年度共同募金 P R 大使就任式の開催

平成 27 年 10 月 10 日、野毛山動物園のツキノワグマ獣舎前で、平成 27 年度共同募金 P R 大使就任式（写真）を開催しました。当日は、ツキノワグマ（愛称：サンペイ・コマチ）に P R 大使委嘱状と秋の果物盛り合わせを贈呈し、式典に集まった多くの来園者から大きな拍手が寄せられました。また、当日の様子は、神奈川新聞およびタウンニュースに写真入りで記事が掲載されました。

② ありがとう 野毛のまち・共同募金実施報告会の開催

平成 28 年 3 月 13 日、野毛山動物園のツキノワグマ獣舎前で、平成 27 年度の共同募金実施報告会を開催しました。当日は、P R 大使を務めたツキノワグマの獣舎前で、募金結果の報告等を行いました。また、周辺地域の野毛飲食業協同組合の協力のもと、加盟 114 店舗に募金期間中、募金箱を設置していただいたことに感謝を込めて、報告会では同組合に横浜市支会から感謝状を贈呈しました。当日の様子は、神奈川新聞およびタウンニュースに写真入りで記事が掲載されました。

（7）環境分野の公益団体等との協働

横浜市内の家庭から出る資源物が、共同募金の寄付金になる全国初の「わが家の資源で横浜の福祉を支えようプロジェクト」を、N P O 法人横浜市集団回収推進部会、横浜市資源リサイクル事業協同組合、横浜市社会福祉協議会と県募金会の 4 者による協働事業として、平成 26 年度から開始しました。同プロジェクトは、地域で回収された資源物（古紙・古布）の回収量 1 トン当たり 50 円が共同募金となり、寄付金は資源物が回収された地域の地区社会福祉協議会を通じて、市民に地域福祉活動として還元される仕組みです。平成 27 年度は、前年度の 3 地区（旭区・希望が丘東連合自治会、緑区・長津田自治連合会、青葉区・市が尾連合自治会）に加えて、2 地区（鶴見区・駒岡地区連合会、南区・蒔田地区連合町内会）が新たに同プロジェクトに加わり、5 地区での寄付総額が 13 万 171 円となりました。



横浜市の蒔田地区連合町内会館で行われた地元町内会・地区社協・環境NPOによる協定書署名式

2 共同募金運動の期間拡大

共同募金運動は、社会福祉法第 112 条の規定に基づき、毎年、厚生労働省告示によって募金期間が定められます。従来は、10 月 1 日から 12 月 31 日までの 3 ヶ月間を運動期間として募金活動を実施してきましたが、募金実績額が平成 7 年度（神奈川県は平成 8 年度）をピークに、全国的に減少していることから、中央共同募金会では募金事業の増強を図るため、厚生労働省と協議を行ってきました。その結果、都道府県ご

とに募金テーマを設定することにより、平成 21 年度から共同募金運動の期間拡大（1 月から 3 月）が認められるようになりました。県募金会でも、各支会等と協議を行い、平成 25 年度から期間拡大を実施。平成 27 年度も、県募金会が企業等との協働を推進する期間として、協働パートナーを拡大するための事業を実施しました。

3 募金事業の実施

（1）平成 27 年度共同募金の実施結果

平成 27 年度共同募金運動は、平成 27 年 9 月 10 日付・厚生労働省告示第 368 号により、平成 27 年 10 月 1 日から同 28 年 3 月 31 日（支会は 12 月 31 日）までの 6 カ月間（支会は 3 カ月間）にわたって実施しました。

- 平成 27 年度共同募金配分計画 …… 【別表 1 20 頁】
- 平成 27 年度共同募金目標額 …… 【別表 2 21 頁】
- 平成 27 年度共同募金実績額 …… 【別表 3-1・3-2 22～23 頁】
- 平成 27 年度共同募金総括表 …… 【別表 4 24 頁】

（2）平成 28 年度共同募金目標額

▽ 平成 28 年度共同募金「広域計画分」目標額

「事務局研究委員会」で検討された原案をもとに、「支会事務局長合同会議」で平成 28 年度共同募金「広域計画分」目標額についての協議を行い、「平成 28 年度共同募金計画案」を策定しました。この計画案は、「配分委員会」（平成 27 年 11 月 12 日開催）の承認を経て、第 260 回理事会および第 226 回評議員会（平成 27 年 12 月 8 日開催）で可決されました。

なお、広域計画分目標額の各市町村分担額については、従来から世帯・人口数をもとに分担率を算出してきましたが、都市開発等によって世帯・人口が急増する地域の急激な負担を緩和するために、「目標額設定方針検討会議」（平成 23 年 12 月設置）での検討結果を踏まえて、分担率の増減率は対前年度比 0.5% までにとどめる平成 24 年度からの新方式を引き続き採用しました。

▽ 平成 28 年度共同募金目標総額

第 260 回理事会・第 226 回評議員会で決定された「広域計画分」目標額に、市（区）町村支会から提出された「地域計画分」目標額を加えた「平成 28 年度共同募金計画（案）」を策定し、配分委員会（平成 28 年 2 月 1 日開催）の承認を得て、第 261 回理事会および第 227 回評議員会（平成 28 年 3 月 24 日開催）で議決されました。平成 28 年度共同募金目標額は 12 億 1,100 万円で決定し、前年度より 200 万円減額となりました。

- 平成 28 年度共同募金配分計画 …… 【別表 5 25 頁】
- 平成 28 年度共同募金目標額 …… 【別表 6 26 頁】

(3) NHK歳末たすけあいの実施と結果

日本放送協会・中央共同募金会主催の「NHK歳末たすけあい」の義援金を受け入れ、県内の社会福祉施設・団体に配分しました。(平成28年2月1日開催の配分委員会で決定)

- 平成27年度(第65回)NHK歳末たすけあい使途総括表…【別表7 27頁】

(4) 神奈川新聞歳末たすけあいの実施と結果

神奈川新聞社、神奈川新聞厚生文化事業団ならびに神奈川県社会福祉協議会と共に実施した「神奈川新聞歳末たすけあい」の義援金を受け入れ、県内の社会福祉施設・団体に配分しました。(平成28年2月1日開催の配分委員会で決定)

- 平成27年度(第46回)神奈川新聞歳末たすけあい使途総括表…【別表7 27頁】

4 配分事業の実施

(1) 共同募金配分申請内容の周知

共同募金に対する配分申請内容を、県内福祉事業者に公平に周知するため、社会福祉施設・団体 2,605 者に郵送で案内を行い、あわせて本会ホームページでも申請事業内容を公開しました。

(2) 平成27年度共同募金に対する配分審査および決定

平成27年度共同募金に対して、県内の590施設・団体から配分計画を大きく上回る要望が寄せられました。配分委員会では、同委員会委員の申請施設実地調査(延べ9日間18施設)による厳正な審査を経て、配分基準をもとに査定案を作成しました。

なお、配分委員会で承認された配分案は、第261回理事会および第227回評議員会(平成28年3月24日開催)で審査のうえ、原案通り最終決定されました。

- 平成27年度共同募金総括表 …… 【別表4 24頁】

5 民間資金の調整

(1) 中央競馬馬主社会福祉財団助成金の推薦

公益財団法人中央競馬馬主社会福祉財団の助成金推薦事務を行うため、「配分委員会」において同財団助成方針に基づく推薦施設の審査を実施し、平成27年度事業のための助成申請施設を次のとおり推薦し決定されました。

推	薦	5件	5,110,000円
決	定	5件	5,110,000円

6 広報活動の実施

(1) 広報資材の作成と配布

共同募金運動実施にあたり、県民の理解促進を図るため、募金・広報に関する資材を作成・配布しました。主な資材は次の通りです。

◇ 全世帯配布資料（2色刷り、裏面は市区町村版）	3,130,550 枚
◇ 共同募金リーフレット	218,400 部
◇ 協力者向け資料 “あかいはね”	16,300 部
◇ ポスター（全県版）	7,400 枚
◇ ポスター（横浜 DeNA ベイスターズ・横浜マリノス版）	16,500 枚
◇ ポスター（川崎フロンターレ版）	7,500 枚
◇ ポスター（湘南ベルマーレ版）	1,800 枚
◇ ポスター（ノジマステラ神奈川相模原版）	3,800 枚
◇ 募金バッジ（全県版）	11,900 個
◇ 募金バッジ（2015 横浜マリノス版）	2,700 個
◇ 募金バッジ（2016 開幕戦限定横浜マリノス版）	500 個
◇ 募金バッジ（川崎フロンターレ版）	4,800 個
◇ 募金バッジ（湘南ベルマーレ版）	1,900 個
◇ ポケットティッシュ（横浜マリノス版）	12,000 個
◇ クリアファイル（川崎フロンターレ版）	10,000 枚
◇ マグネット（湘南ベルマーレ版）	4,000 個
◇ コラボボールペン（ノジマステラ神奈川相模原版）	500 個

(2) 神奈川版CM動画の制作

中央共同募金会では、平成 25 年度より「広報 3 か年プラン」に基づき、人と活動をテーマに「あかいはね女子キャンペーン」を展開して、ポスター等の広報資材を作成しました。このキャンペーンの一環として、共同募金の配分を受けて活動する人物（女性）に焦点をあてた CM づくりも行われ、平成 27 年度は神奈川県内の活動が取り上げられました。また、ソフトバンク株式会社（東京都港区）が開発した感情認識ロボット「P e p p e r （ペッパー）」を使用した CM 動画も、川崎市内の活動を題材に制作されました。なお、この CM は、中央共同募金会を通じて全国各地の民放テレビ局、ケーブルテレビ局、大型ビジョン事業者の協力により各ビジョンで放映されました。

① 神奈川県「横須賀のあかいはね女子バージョン」

神奈川のあかいはね女子は、中央共同募金会と制作を担当する株式会社博報堂（東京都港区）と協議した結果、共同募金運動の募金業務に携わる支会担当者か

ら選出する方針となり、横須賀市支会で共同募金業務を担当する三小田亜耶さんにスポットを当てて撮影することになりました。平成27年12月11日、毎年、学校内で募金活動を実施している横須賀市立浦郷小学校と横須賀市支会事務局（同市社会福祉協議会内）で撮影が行われ、15秒と60秒CMが制作されました。なお、このCMは、株式会社ピローズ（本書6頁参照）の協力により、平成28年2月からCSキッズチャンネル「マルタの冒険」のコーナーで、毎週放送されました。



CMのワンシーン(浦郷小学校の生徒に共同募金の事業を説明する横須賀市支会・三小田氏)

② 感情認識ロボット「Pepperバージョン」

中央共同募金会では、多くの方々に共同募金を理解していただくために、さまざまなシーンを題材としたCM制作を実施しました。同募金会では、ソフトバンク株式会社（東京都港区）が開発した感情認識ロボット「Pepper（ペッパー）」を使用したCMづくりを行うことになり、神奈川県内の活動にスポットをあてて制作したいとの依頼を受けて県募金会では川崎市幸区内で高齢者のサロン活動を行う「いきいきサロンやすらぎ」を推薦しました。平成27年7月27日、同サロンで実施する音楽活動やリハビリ活動、会食会などの様子が撮影され、4種（15秒・30秒・1分・2分）のCMが制作されました。



CM撮影の様子(Pepperを中心に唱歌を歌ういきいきサロンやすらぎの利用者のみなさん)

(3) 第39回神奈川県福祉作文コンクールの実施

県社会福祉協議会との共催で、県内小・中学校および特別支援学校、中等教育学校、フリースクールの児童・生徒を対象に「福祉作文コンクール」を実施しました。また、入選作品集を作成して、支会および応募校・図書館等に配布しました。

- ◇ 応募状況 9,149編（小学校：6,103編／中学校：3,046編）
- ◇ 県審査会 平成27年11月13日
- ◇ 表彰式 平成27年12月19日

(4) 第36回ともしびポスター・第29回ともしび絵本コンテストの実施

県社会福祉協議会との共催で、県内小・中・高等学校および特別支援学校、中等教育学校、フリースクールの児童・生徒を対象に「ともしびポスター・絵本コンテスト」を実施しました。また、入選作品集を作成して、応募校・図書館等に配布し

ました。なお、このコンテストは、近年、児童・生徒を対象としたさまざまな公募コンテストなどの増加により、毎年応募件数が減少しているため、今回をもって終了することになりました。

◇ 応募状況

- ・ ポスターの部 697 編
(小学校：440 点 中学校：162 点 高等学校：95 点)
- ・ 絵本の部 149 編
(小学校：89 点 中学校：18 点 高等学校：42 点)

◇ 県審査会 平成 27 年 9 月 29 日

◇ 表彰式 平成 27 年 12 月 12 日

(5) 新聞紙面への掲載

▽ 共同募金の開始・結果

平成 27 年度共同募金の目標額、募金実績額、配分決定内容を「神奈川新聞」(平成 27 年 10 月 1 日付および平成 28 年 3 月 25 日付)に掲載し、運動の周知に努めました。

(6) インターネットによる情報配信

本会ホームページにより、募金期間中の寄付金情報やプロスポーツチームとの協働によるイベントの様子などを随時公表しました。

また、共同募金データベース「はねっと」(平成 15 年度~/全国共同募金会共通システム)により、平成 27 年度も支会および市区町村社会福祉協議会の協力を得て、募金・配分等に関するデータや受配施設・団体から寄付者への「ありがとうメッセージ」を、インターネット上で公開しました。

7 協力者への表彰・感謝

(1) 募金ボランティアへの表彰・感謝

長年にわたり、共同募金運動の発展に尽力された募金ボランティアへ、全国社会福祉大会ならびに県社会福祉大会において表彰状・感謝状を贈呈しました。

① 全国社会福祉大会(平成 27 年 11 月 20 日)

- ◇ 厚生労働大臣表彰 個人 6 名 ・ 団体 2 件
- ◇ 中央共同募金会会長表彰 個人 4 名 ・ 团体 3 件

② 神奈川県社会福祉大会(平成 27 年 10 月 16 日)

- ◇ 神奈川県知事表彰 個人 29 名 ・ 团体 16 件
- ◇ 神奈川県共同募金会会長感謝 個人 138 名 ・ 团体 44 件

(2) 寄付者への感謝

平成 27 年度共同募金運動に高額のご寄付をいただいた方々に対して、感謝状等を伝達・贈呈しました。

◇ 紟綬褒章（申請中）	個人	一名	・	団体	1 件
◇ 厚生労働大臣感謝（申請中）	個人	一名	・	団体	1 件
◇ 中央共同募金会会長感謝	個人	5 名	・	団体	一件
◇ 神奈川県知事感謝	個人	4 名	・	団体	11 件
◇ 神奈川県共同募金会会長感謝	個人	30 名	・	団体	36 件

8 組織活動の展開

(1) 理事会の開催

◇ 第 258 回（平成 27 年 4 月 6 日）

《協議事項》

- ① 会長の互選について
- ② 副会長の互選について
- ③ 参与の推薦について
- ④ 資金運用責任者の選任について

（報告事項）

- ① 平成 26 年度共同募金の結果について

◇ 第 259 回（平成 27 年 5 月 26 日）

《協議事項》

- ① 平成 26 年度事業報告ならびに決算について
- ② 評議員の辞任に伴う後任について

（報告事項）

- ① 学校法人関東学院との共同宣言について

◇ 第 260 回（平成 27 年 12 月 8 日）

《協議事項》

- ① 平成 28 年度共同募金計画（広域計画分）について
- ② 評議員の辞任に伴う後任の選任ならびに配分委員会委員の辞任に伴う後任の委嘱について

（報告事項）

- ① 理事の辞任に伴い新たに選任された理事について
- ② 平成 27 年度共同募金の状況について
- ③ 平成 27 年度共同募金の配分申請状況について
- ④ 平成 26 年度神奈川県共同募金会総合決算書

◇ 第 261 回理事会（平成 28 年 3 月 24 日）

《協議事項》

- ① 平成 27 年度共同募金配分案について
- ② 平成 28 年度共同募金計画案および配分基準案について
- ③ 平成 28 年度事業計画案および予算案について
(報告事項)
 - ① 平成 27 年度共同募金の実績額等について
 - ② 平成 27 年度受配者指定寄付金の取り扱いについて
 - ③ 平成 28 年度神奈川県市町村社会福祉協議会等による災害時緊急事業に対する配分について
 - ④ 中央共同募金会による共同募金 70 年答申について

(2) 評議員会の開催

◇ 第 225 回（平成 27 年 5 月 26 日）

《協議事項》

- ① 平成 26 年度事業報告ならびに決算について
(報告事項)
 - ① 学校法人関東学院との共同宣言について

◇ 第 226 回（平成 27 年 12 月 8 日）

《協議事項》

- ① 平成 28 年度共同募金計画（広域計画分）について
- ② 理事の辞任に伴う後任について
(報告事項)
 - ① 平成 27 年度共同募金の状況について
 - ② 平成 27 年度共同募金の配分申請状況について
 - ③ 平成 26 年度神奈川県共同募金会総合決算書

◇ 第 227 回（平成 28 年 3 月 24 日）

《協議事項》

- ① 平成 27 年度共同募金配分案について
- ② 平成 28 年度共同募金計画案および配分基準案について
- ③ 平成 28 年度事業計画案および予算案について
(報告事項)
 - ① 評議員の辞任に伴う後任の選任および配分委員会委員の辞任に伴う後任の委嘱について
 - ② 平成 27 年度共同募金の実績額等について
 - ③ 平成 27 年度受配者指定寄付金の取り扱いについて
 - ④ 平成 28 年度神奈川県市町村社会福祉協議会による災害等緊急事業に対

する配分について

- ⑤ 中央共同募金会による共同募金 70 年答申について

(3) 監事会の開催

- ◇ 実施日 平成 27 年 4 月 24 日
- ◇ 監査事項 ①平成 26 年度事業について ②平成 26 年度決算について
- ◇ 監査結果 監事 2 名の監査により、「事業・決算ともに正当かつ正確である」旨、認められました。

(4) 配分委員会の開催

- ◇ 第 1 回（平成 27 年 7 月 7 日）

会議内容：平成 27 年度配分委員会開催計画、中央競馬馬主社会福祉財団助成金の推せん施設選定、開拓・啓発事業資金の配分審査、国内大規模災害時の対応、他

- ◇ 第 2 回（平成 27 年 11 月 12 日）

会議内容：平成 27 年度共同募金実施状況、平成 27 年度共同募金申請事業の配分案（第 1 回）、平成 28 年度共同募金計画案「広域計画分」承認審査、他

- ◇ 第 3 回（平成 28 年 2 月 1 日）

会議内容：平成 27 年度共同募金の配分案策定に係る具体的な内容の協議、平成 27 年度 NHK 歳末たすけあい・神奈川新聞歳末たすけあいの配分審査、平成 27 年度共同募金申請事業の配分案（第 2 回）、平成 28 年度共同募金の配分基本方針、平成 28 年度神奈川県市区町村社会福祉協議会等による災害時緊急時事業に対する配分案、他

- ◇ 配分委員会委員による配分申請施設の現地調査（平成 28 年 1 月 20 日～2 月 10 日）

調査内容：社会福祉施設等からの申請事業について、緊急性・必要性・計画性等を実地に調査。（延べ 9 日間・調査対象施設 18 施設）

- ◇ 第 4 回（平成 28 年 2 月 29 日）

会議内容：平成 27 年度募金実績額等配分財源の確認、平成 27 年度配分査定案・平成 28 年度共同募金計画案・配分基準案の承認審査、他

(5) 支会事務局長合同会議の開催

市町村支会事務局長と県社会福祉協議会事務局長および県・横浜市・川崎市・相模原市行政の地域福祉担当部課長との合同会議を開催し、市区町村における募金活動が全県協調して実施されるよう連絡協議を行いました。

また、配分委員会および理事会・評議員会に諮るため、「平成 28 年度共同募金計

画案」ならびに「平成 27 年度共同募金配分案」の原案等について協議を行いました。

- ◇ 第1回 平成 27 年 10 月 29 日
- ◇ 第2回 平成 28 年 2 月 16 日

(6) 事務局研究委員会の開催

市町村支会事務局長の代表と県社会福祉協議会事務局長および県・横浜市・川崎市・相模原市行政の地域福祉担当部課長等で構成する事務局研究委員会を開催し、「平成 28 年度共同募金目標額・配分計画」の原案を作成しました。

- ◇ 第1回 平成 27 年 6 月 30 日
- ◇ 第2回 平成 27 年 8 月 21 日

(7) 支会事務担当職員会議の開催

共同募金の業務を担う市区町村支会事務担当職員の会議を開催し、共同募金の募集、広報、配分の業務が円滑にとり進められるよう協力を要請しました。

- ◇ 第1回 平成 27 年 4 月 23 日
- ◇ 第2回 (ブロック別に開催)
 - ▽ 横浜ブロック 平成 27 年 7 月 16 日
 - ▽ 川崎ブロック 平成 27 年 7 月 30 日
 - ▽ 湘南ブロック 平成 27 年 7 月 22 日
 - ▽ 県央・西湘ブロック 平成 27 年 7 月 24 日

9 関係機関団体との連絡・協調

(1) 中央共同募金会等との連絡・協調

中央共同募金会が主催する諸会議や関東ブロック都道府県共同募金会の会議に出席して、共同募金運動の全国的な連絡・協調に努めました。

- ◇ 都道府県共同募金会職員会議 平成 27 年 4 月 9~10 日
- ◇ 中央共同募金会 第 224 回理事会・第 180 回評議員会 平成 27 年 5 月 25 日
- ◇ 都道府県共同募金会常務理事・事務局長会議 平成 27 年 6 月 4 日
- ◇ 首都圏共同募金会職員研究協議会 平成 27 年 6 月 24 日
- ◇ 関東ブロック都県共同募金会職員研究協議会 平成 27 年 6 月 19 日
- ◇ 都道府県共同募金会常務理事・事務局長会議 平成 28 年 2 月 12 日
- ◇ 中央共同募金会 第 225 回理事会・第 181 回評議員会 平成 28 年 2 月 25 日

(2) 神奈川県社会福祉協議会との連絡・協調

社会福祉法第 119 条の規定に基づき、平成 27 年度の共同募金計画について、神奈

川県社会福祉協議会に文書により意見を聞くとともに、同協議会と常時緊密な連絡を保ち、相互の事業について協力を図りました。

10 たすけあい福祉資金の運営

(1) 火災等見舞金の交付

「たすけあい福祉資金設置運営規程」に基づき、市区町村社会福祉協議会を通じて、火災等による罹災世帯に見舞金（209件 1,815,000円）を贈りました。

○ 平成27年度たすけあい福祉資金災害見舞金配分状況表……【別表9 31頁】

(2) 東日本大震災等への対応

東日本大震災（平成23年3月11日発生）や「平成27年9月関東・東北豪雨災害」（平成27年9月9日発生）の被災者および県内避難者に対するボランティア活動を支援するため、前年に引き続き資金の一部を活用しました（後述）。

(3) 障がい者支援施設の消防設備への対応

消防法令の改正に伴い、自力避難困難者の入所福祉施設は、平成29年度までにスプリンクラー設備を整備することが義務付けられました。制度改正を受けて、障がい者グループホーム等から同設備の整備資金として受配申請があった事業について、配分委員会（平成27年11月12日／平成28年2月1日開催）で審査した結果、8施設に対して総額3,360,000円の緊急配分を決定しました。

11 国内大規模災害時の対応

(1) 災害義援金の受け付け

地震・風水害により災害救助法の適用を受けた国内大規模災害時に、被災者の当面の生活支援を目的とした「災害義援金」の受け付けを行いました。なお、義援金は、被災県の県行政・NHK・共同募金会・日本赤十字社等で組織された「義援金募集・配分委員会」に集約されるため、本会ではそれぞれの義援金を被災県共同募金会へ直ちに送金しました。

○ 平成27年度災害義援金募集状況一覧表……【別表11 33頁】

(2) 緊急事業への対応

「東日本大震災」は、被災各地で復興支援活動が行われていますが、福島県の原発避難地域を中心に、県内にも3,675人（H28.3.10 復興庁調べ）を超える方が避難生活されています。さらに、平成27年度は「平成27年9月関東・東北豪雨災害」により、本会では被害が甚大であった茨城県常総市の災害ボランティアセンターに職員を派遣するとともに、発災直後から被災者支援活動を、県、県社会福祉協議会、県災害ボランティアネットワークと連携して展開してきました。平成27年度も引き

続き、同災害等による国内大規模災害時に、本会が保有する「たすけあい福祉資金」により、社会福祉協議会等と連携して支援を実施しました。

① 国内大規模災害等への緊急事業費配分（平成 27 年度事業）

平成 27 年度に社会福祉協議会等が企画・実施した被災地へのボランティア派遣事業など、県内外を対象とした緊急時の事業（県・指定都市社協は 150 万円、前記を除く市区町村社協 100 万円上限）に対して、22 件 1,277 万 1,436 円の配分を実施しました。

○ 平成 27 年度たすけあい福祉資金・国内大規模等災害等緊急事業費配分状況表【別表 10 32 頁】

② 国内大規模災害等への緊急事業費配分（平成 28 年度事業）

「東日本大震災」は、発災後 5 年が経過しましたが、引き続き社会福祉協議会が中心となって、県内および被災地での交流や支援活動が行われています。

平成 28 年度も同災害を含む国内大規模災害時に、社会福祉協議会や災害ボランティアネットワークが連携して企画・実施する緊急事業に対して、地域エリアごとに 100 万円（県・指定都市は 150 万円）を上限として直ちに配分することを、配分委員会（平成 28 年 2 月 1 日開催）で決定しました。

12 受配者指定寄付金の受け入れ審査

「昭和 40 年 4 月 30 日付大蔵省告示第 154 号第 4 号の 2」および「地方税法施行令第条の 15 の 6 第 2 号」に基づき、税制上の優遇措置の適用を受ける「受配者指定寄付金」の受け入れに際して、本会による審査承認案件を、財務省指導による中央共同募金会の審査会に上申し、承認された 4 件の寄付金を受け入れました。

○ 平成 27 年度受配者指定寄付金使途総括表……【別表 12 34 頁】

13 中央共同募金会による共同募金 70 年答申

中央共同募金会では、平成 28 年度に共同募金運動 70 年を迎えるに当たり、新たな地域福祉を進めていくための共同募金の方向性を明確にしていくことを目的に、平成 26 年 10 月 30 日、大学や経済団体、民生委員児童委員協議会、N P O、社会福祉協議会、共同募金会の関係者 15 名により「企画・推進委員会」を組織して、協議を行ってきました。その結果、平成 28 年 2 月 25 日、同募金会の第 181 回評議員会で『参加と協働による「新たたすけあい」の創造～共同募金における運動性の再生～』と題する答申が出されました。なお、この答申内容の協議にあたり、県募金会では同委員会の委員として職員を派遣しました。

- ◇ 中央共同募金会 企画・推進委員会(本委員会)
 - ・ 第 1 回～第 9 回（平成 26 年 10 月 30 日～平成 28 年 1 月 21 日）
- ◇ 中央共同募金会 企画・推進委員会(作業部会)
 - ・ 第 1 回～第 4 回（平成 27 年 6 月 23 日～平成 27 年 10 月 22 日）
- ◇ 中央共同募金会 企画・推進委員会(都道府県共募選出委員会)
 - ・ 第 1 回～第 2 回（平成 27 年 12 月 9 日～平成 28 年 1 月 12 日）

別表1

平成27年度共同募金配分計画

(単位:千円)

使途区分	募金区分・計画区分	一般募金		年末募金 地域計画分	総額
		広域計画分	地域計画分		
配 分 金	施設整備費	223,500	0	0	223,500
	広域活動団体事業費	35,000	0	0	35,000
	在宅福祉援助費	48,000	0	0	48,000
	開拓・啓発事業資金	10,000	0	0	10,000
	市区町村社協整備費	18,000	0	0	18,000
	地域福祉事業費	0	306,470	0	306,470
	年末たすけあい援護資金	(注1) 3,000	0	392,040	395,040
	災害準備金	(注2) 36,390	0	0	36,390
小計		373,890	306,470	392,040	1,072,400
運 営 費	中央共募分担金	3,514	0	0	3,514
	県共募経費繰入金	79,046	0	0	79,046
	支会経費繰入金	43,710	14,330	0	58,040
	小計	126,270	14,330	0	140,600
合計		500,160	320,800	392,040	1,213,000

▽ 募金種別ごとの内訳

(単位:千円)

一般募金			年末募金 地域計画分	配分計画総額
広域計画分	地域計画分	小計		
500,160	320,800	820,960	392,040	1,213,000

(注1) 年末たすけあい援護資金(広域計画分)3,000千円は、県募金会が主体となって実施する「NHK歳末たすけあい」「神奈川新聞歳末たすけあい」の配分資金。

(注2) 災害準備金は、目標総額(広域計画分+地域計画分)の3%に設定する。

(算出方法) H27目標総額 12億1,300万円×3% = 3,639万円

別表2

平成27年度共同募金・目標額一覧表

(単位:千円)

区分 地域	一般募金			年末募金 地域計画分	総目標額
	広域計画分	地域計画分	小計		
横浜市	195,030	159,060	354,090	140,960	495,050
川崎市	79,040	31,250	110,290	70,230	180,520
相模原市	37,810	15,750	53,560	17,500	71,060
横須賀市	20,840	27,160	48,000	32,000	80,000
平塚市	13,230	7,770	21,000	17,000	38,000
鎌倉市	9,020	7,570	16,590	11,000	27,590
藤沢市	21,780	11,000	32,780	12,000	44,780
小田原市	9,980	9,040	19,020	10,500	29,520
茅ヶ崎市	12,060	6,200	18,260	9,200	27,460
逗子市	2,980	2,940	5,920	5,000	10,920
三浦市	2,350	2,500	4,850	4,300	9,150
秦野市	8,740	5,310	14,050	2,160	16,210
厚木市	11,650	4,350	16,000	800	16,800
大和市	12,190	5,070	17,260	7,540	24,800
伊勢原市	5,210	4,000	9,210	6,540	15,750
海老名市	6,550	1,660	8,210	8,090	16,300
座間市	6,770	120	6,890	5,660	12,550
南足柄市	2,130	1,920	4,050	3,000	7,050
綾瀬市	4,180	5,320	9,500	340	9,840
葉山町	1,620	2,370	3,990	4,200	8,190
寒川町	2,370	940	3,310	3,370	6,680
大磯町	1,620	1,500	3,120	3,200	6,320
二宮町	1,460	840	2,300	2,790	5,090
中井町	470	420	890	1,500	2,390
大井町	860	950	1,810	1,360	3,170
松田町	590	840	1,430	780	2,210
山北町	550	560	1,110	700	1,810
開成町	790	760	1,550	1,200	2,750
箱根町	810	700	1,510	1,700	3,210
真鶴町	410	440	850	900	1,750
湯河原町	1,360	900	2,260	2,000	4,260
愛川町	2,080	1,300	3,380	4,050	7,430
清川村	170	290	460	470	930
合計	476,700	320,800	797,500	392,040	1,189,540
県直接扱	23,460	0	23,460	0	23,460
総合計	500,160	320,800	820,960	392,040	1,213,000

※参考

(単位:千円)

平成26年度	一般募金			年末募金 地域計画分	総目標額
	広域計画分	地域計画分	小計		
	499,590	322,060	821,650		

別表3-2

平成27年度共同募金市町村別状況表

平成28年3月31日現在

(単位:円)

支会名	一般募金		年末募金		合計	
	目標額	実績額	目標額	実績額	目標額	実績額
横浜市	354,090,000	261,739,643	140,960,000	142,158,550	495,050,000	403,898,193
川崎市	110,290,000	104,224,247	70,230,000	64,648,365	180,520,000	168,872,612
相模原市	63,560,000	42,009,488	17,500,000	17,305,792	71,060,000	59,315,280
横須賀市	48,000,000	44,927,815	32,000,000	29,951,875	80,000,000	74,879,690
平塚市	21,000,000	20,938,602	17,000,000	18,300,757	38,000,000	39,239,359
鎌倉市	16,590,000	17,050,373	11,000,000	10,816,981	27,590,000	27,867,354
藤沢市	32,780,000	26,762,963	12,000,000	12,995,741	44,780,000	39,758,704
小田原市	19,020,000	19,018,837	10,500,000	10,555,761	29,520,000	29,574,098
茅ヶ崎市	18,260,000	15,784,434	9,200,000	9,005,990	27,460,000	24,790,424
逗子市	5,920,000	4,994,832	5,000,000	3,891,169	10,920,000	8,886,001
三浦市	4,850,000	4,028,649	4,300,000	3,681,475	9,150,000	7,710,124
秦野市	14,050,000	13,362,041	2,160,000	2,160,000	16,210,000	15,522,041
厚木市	16,000,000	15,094,683	800,000	800,000	16,800,000	15,894,683
大和市	17,260,000	17,153,678	7,540,000	6,760,908	24,800,000	23,914,586
伊勢原市	9,210,000	7,376,244	6,540,000	6,306,586	15,750,000	13,682,830
海老名市	8,210,000	8,456,730	8,090,000	8,292,903	16,300,000	16,749,633
座間市	6,890,000	6,216,068	5,660,000	5,466,194	12,550,000	11,682,262
南足柄市	4,050,000	4,032,077	3,000,000	3,000,000	7,050,000	7,032,077
綾瀬市	9,500,000	8,979,103	340,000	340,000	9,840,000	9,319,103
葉山町	3,990,000	4,457,887	4,200,000	4,346,824	8,190,000	8,804,711
寒川町	3,310,000	3,417,821	3,370,000	3,393,070	6,680,000	6,810,891
大磯町	3,120,000	3,078,481	3,200,000	3,219,813	6,320,000	6,298,294
二宮町	2,300,000	2,253,073	2,790,000	2,540,880	5,090,000	4,793,953
中井町	890,000	897,550	1,500,000	1,433,615	2,390,000	2,331,165
大井町	1,810,000	1,788,148	1,360,000	1,393,271	3,170,000	3,181,419
松田町	1,430,000	1,536,899	780,000	805,417	2,210,000	2,342,316
山北町	1,110,000	982,445	700,000	736,246	1,810,000	1,718,691
開成町	1,550,000	1,552,295	1,200,000	862,259	2,750,000	2,414,554
箱根町	1,510,000	1,391,070	1,700,000	1,627,789	3,210,000	3,018,859
真鶴町	850,000	787,781	900,000	674,337	1,750,000	1,462,118
湯河原町	2,260,000	2,160,730	2,000,000	2,478,407	4,260,000	4,639,137
愛川町	3,380,000	3,587,520	4,050,000	3,986,060	7,430,000	7,573,580
清川村	460,000	451,190	470,000	433,900	930,000	885,090
小計	797,500,000	670,492,897	392,040,000	384,370,935	1,189,540,000	1,054,863,832
県募金会	23,460,000	90,815,078	-	-	23,460,000	90,815,078
合計	820,960,000	761,307,975	392,040,000	384,370,935	1,213,000,000	1,145,678,910
達成率	92.734%		98.044%		94.450%	

別表5

平成28年度共同募金配分計画

(単位:千円)

使途区分	募金区分・計画区分	一般募金		年末募金 地域計画分	総額
		広域計画分	地域計画分		
配 分 金	施設整備費	223,500	0	0	223,500
	広域活動団体事業費	35,000	0	0	35,000
	在宅福祉援助費	48,000	0	0	48,000
	開拓・啓発事業資金	10,000	0	0	10,000
	市区町村社協整備費	18,000	0	0	18,000
	地域福祉事業費	0	302,690	0	302,690
	年末たすけあい援護資金	(注1) 3,000	0	393,000	396,000
	災害準備金	(注2) 36,330	0	0	36,330
小計		373,830	302,690	393,000	1,069,520
運 営 費	中央共募分担金	3,514	0	0	3,514
	県共募経費繰入金	79,906	0	0	79,906
	支会経費繰入金	43,740	14,320	0	58,060
	小計	127,160	14,320	0	141,480
合計		500,990	317,010	393,000	1,211,000

▽ 募金種別ごとの内訳

(単位:千円)

一般募金			年末募金 地域計画分	配分計画総額
広域計画分	地域計画分	小計		
500,990	317,010	818,000	393,000	1,211,000

(注1) 年末たすけあい援護資金(広域計画分)3,000千円は、県募金会が主体となって実施する「NHK年末たすけあい」「神奈川新聞年末たすけあい」の配分資金。

(注2) 災害準備金は、目標総額(広域計画分+地域計画分)の3%に設定する。

(算出方法) H28目標総額 12億1,100万円×3% = 3,633万円

別表7

平成27年度歳末たすけあい使途総括表

【収入の部】

項目 取扱別	件 数	金 額 (円)	備 考
NHK歳末たすけあい	2,701	35,171,917	第65回NHK歳末たすけあい
神奈川新聞歳末たすけあい	232	8,851,528	第49回神奈川新聞歳末たすけあい
合 計	2,933	44,023,445	

■ NHK歳末たすけあい

【支出の部】

配分先種別	件 数	金 額 (円)	使途概要
社会福祉団体	47	32,230,000	児童・障がい者団体、DV被害者支援団体、難病当事者団体等の活動支援として
法定社会福祉施設	2	2,060,000	児童自立支援施設・地域活動支援センターの活動支援として
歳末たすけあい運動経費	-	881,917	歳末たすけあい運動を実施するためのポスター・振込用紙等を作成するための事業経費として
合 計	49	35,171,917	

■ 神奈川新聞歳末たすけあい

【支出の部】

配分先種別	件 数	金 額 (円)	使途概要
社会福祉団体	5	8,531,528	児童・障がい者団体等の活動支援として
障がい者福祉施設	2	320,000	障害者グループホームの生活用備品整備等として
合 計	7	8,851,528	

別表10

平成27年度たすけあい福祉資金・国内大規模災害等緊急事業費配分状況表

※県・政令指定都市社協150万/その他社協100万

地域	事業内容	決定金額
1 横浜市	平成27年9月関東・東北豪雨災害支援ボラバス運行…茨城県常総市	592,576
2 中 区	さんりく「がんばっぺし」心プロジェクト「被災地花いっぱい運動」ボランティア派遣事業、特産品販売など…岩手県大船渡市・大槌町内仮設他、中区内)	1,000,000
3 金沢区	東日本大震災被災地支援ボラバス運行…宮城県石巻市雄勝町	728,984
4 瀬 谷 区	東日本大震災被災地支援ボラバス運行…岩手県釜石市他	1,000,000
5 川 崎 市	平成27年9月関東・東北豪雨災害支援ボラバス運行…茨城県常総市	676,800
6 高 津 区	福島仮設住宅慰問及び富岡町社協研修会…松川第一仮設住宅にて交流会、富岡町社協にて支援活動と研修会等	914,333
7 相模原市	平成27年9月関東・東北豪雨災害支援ボラバス運行…茨城県常総市	442,411
8 横須賀市	平成27年9月関東・東北豪雨災害支援ボラバス運行…茨城県常総市	231,571
9 鎌 倉 市	①鎌倉アジサイの苑プロジェクト事業…宮城県本吉郡南三陸町②心の支援コンサート…宮城県亘理郡山元町	1,000,000
10 藤 沢 市	未来プロジェクトin福島～マーチングバンド交流会(湘南ドルフィンズ・マーチングバンド×原町第一小マーチングバンド部・Seed+マーチングバンド)～	414,452
11 逗 子 市	東日本大震災被災地支援ボラバス運行…①陸前高田市応援交流事業 ②平成27年9月関東・東北豪雨災害支援ボラバス運行…茨城県常総市(共催:葉山町社協)	572,205
12 三 浦 市	東日本大震災被災地支援を目的とした講演会…南三陸町のチャリティ映画上映、講演会、被災地への寄付等	300,000
13 厚 木 市	平成27年9月関東・東北豪雨災害支援ボラバス運行…茨城県常総市 (共催:厚木市役所)	202,000
14 大 和 市	平成27年9月関東・東北豪雨災害支援ボラバス運行…茨城県常総市他 (主催:やまと災害ボランティアネットワーク/協力:大和市社協)	500,000
15 座 間 市	東北ボランティアバス運行…宮城県女川町、岩手県釜石市にてボランティア活動、福島県相馬市にて被災地訪問	1,000,000
16 南足柄市	東日本大震災復興支援事業…陸前高田市特産品販売、寄付の手渡し、ざる菊の植栽、遠野市での防災協定締結式等	240,527
17 綾瀬市	綾瀬発・釜石応援プロジェクト…夏の交流まつり開催、復興公営住宅でのふれあいまつりの協賛など	1,000,000
18 葉 山 町	平成27年9月関東・東北豪雨災害支援ボラバス運行…茨城県常総市 (共催:逗子市社協)	72,205
19 寒 川 町	①第31回寒川町産業まつりでの南三陸町物産展②3.11寒川キャンドルプロジェクト…イベントでの被災地物産展、売り上げの寄付等	687,295
20 松 田 町	東日本大震災被災地支援事業…まつだ産業まつりでの陸前高田市物産展、チャリティーイベント、被災地へ寄付・交流等	379,431
21 愛 川 町	東日本大震災被災地支援事業…釜石市チャリティ映画上映、講演会、被災地への寄付等	150,000
22 神奈川県	平成27年9月関東・東北豪雨災害支援ボラバス運行…茨城県常総市 (主催:県災害ボランティアネットワーク/協力:県、県社協)	666,646
	合 計	12,771,436

別表11

災害義援金募集状況一覧表(平成27年度)

平成28年3月31日現在

No.	名 称	災害発生時期	義援金募集期間	義援金の使途概要（注1）
1	長野県神城断層地震災害義援金	平成26年 11月22日	平成26年 平成27年 11月27日～ 9月30日	配分総額 1億3829万5804円…内容… ■人的被害(重傷8件:318万8368円)住宅被害(全壊81件:6456万4452円/半壊177件:7054万2642円)その他342円
2	屋久島町口之永良部新岳噴火災害義援金	平成27年 5月29日	平成27年 同年 6月3日～ 12月25日	義援金総額 8444万4945円(平成27年12月11日現在) 配分総額 7477万円…内容… ■第1次配分:単身世帯14万円(2人以上世帯は1人につき7万円加算)■第2次配分:単身世帯60万円/複数世帯80万円)■第3次配分:未定
3	茨城県台風18号等災害義援金	平成27年 9月中旬	平成27年 平成27年 9月11日～ 12月31日	配分総額20億2395万2357円…内容… ■第1次・第2次配分:人的被害(死亡292万8000円)住宅被害(全壊3879万6000円/半壊19億2918万6000円/床上浸水5014万2000円)その他290万357円
4	栃木県台風18号等災害義援金	平成27年 9月中旬	平成27年 同年 9月14日～ 12月30日	配分総額4億9846万7598円…内容… ■第1次配分:2億5486万8076円(人的被害:死亡103万7034円/重傷20万7406円/軽傷10万3704円)(住宅被害:全壊829万6272円/半壊3802万4580円/一部損壊290万3684円/床上浸水2億429万4910円) ■第2次配分:2億4359万9522円(人的被害:死亡176万4903円/重傷35万2980円/軽傷23万5320円)(住宅被害:全壊1294万2622円/半壊2億8356万600円/一部損壊511万8210円/床上浸水1億9449万1980円)
5	宮城県台風18号等災害義援金	平成27年 9月中旬	平成27年 同年 9月16日～ 11月30日	配分総額2億1618万5919円…内容… ■第1次配分:1億393万5020円 ■第2次配分:1億1225万899円 (住家被害:全壊世帯1, 半壊世帯0.5, 床上浸水世帯0.1)
6	平成27年台風第18号による大雨等災害義援金 (被災3県共通義援金受入口座)	平成27年 9月中旬	平成27年 同年 9月15日～ 12月30日	■宮城県、茨城県、栃木県のそれぞれの被災状況に応じて、配分されました。
7	台風第21号与那国町災害義援金	平成27年 9月28日	平成27年 平成27年 10月6日～ 12月31日	配分総額3043万5653円…内容… ■第1次配分:住宅被害(全壊700万円/半壊1837万5000円)■第2次配分:与那国町へ506万653円)

(注1) 各災害義援金の配分は、被災都道府県ごとに設置された「災害義援金募集・配分委員会」(被災都道府県行政・共同募金会・日本赤十字社・NHK等により組織)で協議のうえ決定。配分総額等は、被災地自治体のホームページ公表内容を掲載。

別表12

平成27年度受配者指定寄付金総括表

▽ 平成28年3月31日現在

(単位:円)

取入の部			支出の部		
科目	金額	摘要	科目	金額	摘要
受配者指定寄付金収入	91,302,040	(A)受配者指定寄付金 (B)受配者指定寄付金審査収入	89,164,000 2,138,040		
合 計	91,302,040				
			1 受配者指定寄付金配分金	89,164,000	
			法 定 福 祉 施 設	89,164,000	平成27年度事業費配分
			2 受配者指定寄付金審査経費	2,138,040	
			(1) 中 央 審 査 負 担 金	64,141	平成27年度分
			(2) 県 共 募 経 費 緑 入 金	2,073,899	平成27年度分
			合 計	91,302,040	

平成27年度受配者指定寄付金・取り扱い状況一覧表

▽ 平成28年3月31日現在

(単位:円)

No.	施設業種	受配施設名	使途内容	配分額(A)	審査経費内訳			寄付額(A)+(B)
					審査経費(B)	本会分	中央分	
1	特別養護老人ホーム	プラチナ・ヴィラ野川	特別養護老人ホームの開設時の設備整備	18,000,000	469,387	455,305	14,082	18,469,387
2	特別養護老人ホーム	かがやき	特別養護老人ホームの建築用地取得	30,000,000	714,286	692,857	21,429	30,714,286
3				40,000,000	918,367	890,817	27,550	40,918,367
4	介助犬訓練施設	日本介助犬協会	事業用車両購入	1,164,000	36,000	34,920	1,080	1,200,000
合 計				89,164,000	2,138,040	2,073,899	64,141	91,302,040